

JGA 主催 2016 年イヤーエンド・パーティ レポート

2016 年 12 月 9 日(金) 13:00 ~ 15:00

今年に入っても訪日客の数は伸びを見せ、日本政府観光局（JNTO）の発表によれば、10 月末の時点で昨年全体の訪日客総数を上回る 2,000 万人を越えたとのこと。浅草駅を降りるとすぐ目に飛び込んで来るのはいかにも外国から来たと見える沢山の人々。それぞれ日本の雰囲気を楽しんでいらっしゃる事が手に取るようにわかり、自然と頬が緩むと共に、「カメラを持って眼鏡をかけているのは日本人の海外旅行者」、と揶揄されたことがとんでもない昔のように思えるわ、と思う自分に苦笑い。

浅草寺境内を思いがけないアングルから臨める台東区民会館の 8 階にある「おはし de 精養軒」を会場として、今年も JGA イヤーエンド・パーティが開かれました。通訳案内士 112 名、来賓の JGA 賛助会員の方々や観光関係の方々もお迎えして 158 名でのにぎやかな年末懇親会となりました。今年のイヤーエンド・パーティのテーマは「絆・発展へ」。長い間ご自身の活動や後輩の指導でガイド業界・観光業界・そして JGA を支えて来てくださった先輩も参加してくださったことは、JGA 活動で味わってきた温かさを感じると共に、次の世代への橋渡し役の重みを感じました。

冒頭に観光庁観光資源課長、蔵持京治様から、新年に向けての展望と観光業界の結束を呼びかけるスピーチをいただきました。乾杯は JGA 顧問の伊藤政人さん。「JGA は 75 周年だそうです、実は私も 75 歳です」と笑いを取りながらの圧巻の乾杯音頭となりました。後半は正会員の島根美奈子さん、長屋正子さんの明るい司会で、和やかに歓談が進みました。会場は東京でしたが、全国の各支部からの会員や会員外の方の参加と観光業に携わる業者の皆様、賛助会員の皆様が一同に介して交流する賑やかな 2 時間が過ぎ、多様化の進む訪日形態の中、共に支えながら充実した訪日観光を提供できるようにしていきたいという通訳案内士の熱意が溢れていました。

本年も大勢の皆様のご参加を戴き、盛況のうちにお開きを迎えましたことを改めて感謝申し上げます。

池沢なるみ（実行委員・埼玉・E）

イヤーエンド・パーティ実行委員会委員長 / 本部運営委員長 矢木野さか恵

イヤーエンド・パーティ実行委員会担当理事 / 副会長 木脇祐香理

イヤーエンド・パーティ実行委員会 委員一同

